

妊婦プロジェクトネパール現地インタビュー

日時 2018年2月18日 12時～16時

場所 チョウタラ District

1) チョウタラ病院付近



- ① 母 カルパナ シュレスタ (32)、
男 ラージュ (2歳2か月) 姉三人あり
- ・誕生後 呼吸器が弱く気管支炎に悩まされたが、今は元気である。見た目も元気そうだった。
 - ・カプセルは妊娠3か月～産後45日まで飲んでいた。
 - ・家族 子供4人、親、とも 6人
 - ・ヨード添加塩 1 Kg の袋、家族6人で1か月の消費。
 $1000\text{ g} \div 6\text{ 人} \times 30\text{ 日} = 5.5\text{ g/ 人} \cdot \text{日}$
 - ・カプセル飲んで よかった
- 姉三人はよく倒れていた。この子はそれがない。
- ・震災を受け、現在 仮設住宅に住む。



②



母 ミルミナ (30歳)

女 スミナ (2才) 姉 9歳、5歳の二人あり

- ・妊娠3か月検診でヨード欠乏判明
- ・カプセル摂取；3か月後～出産後1か月
- ・カプセル摂取後妊婦として元気が出た、楽に出産。

赤ちゃんは特に異常はなし 姉との健康差なし

- ・ヨード添加塩 1Kgの袋 2週間で終了 (家畜とも)
人間十家畜半々であるので、人間としては
家族6人として

$$1000 \text{ g} \div 30 \text{ 日} \times 6 \text{ 人} = 5.5 \text{ g} / \text{人} \cdot \text{日}$$

- ・義父は高血圧



③



母 パルバティ アディカリ (25歳)

女 レニィサ (3歳)

- ・野作業の後、自宅近くでインタビュー、夕方であった。
- ・産後の赤ちゃん 元気。
- ・カプセル摂取；妊娠4か月後～産後45日
- ・カプセル摂取中は妊婦として、極めて健康的だった。

ヨード添加塩 1.5Kg を1か月のペース。

5人家族として

$1500\text{g} \div 30\text{日} \times 5\text{人} = 10\text{g/人} \cdot \text{日}$

少し多いと自覚しているという

- ・震災で3歳の子を亡くしている

2) チョウタラ・アラニコホテル



④

母 ビマラ ガレラマ (38 歳)

男 サヨナ (11 歳) 長男

- ・プロジェクトの最初の1期生である。11年まえである。
- ・妊娠の定期検診でヨード不足を指摘され、プロジェクト参加を決意。
- ・カプセル摂取で母親として出産がスムーズであった。
- ・誕生後、4歳まで病気勝ちで(テンカン?) あったが、5歳から元気になった。
- ・ヨード添加塩; 4人家族で月2kg (自信?)

$$2000 \div 30 \text{ 日} \times 4 \text{ 人} = 16.7 \text{ g}$$



⑤

母 ビマラ ガレ (30 歳)

女 ガリマ (11 才)

- ・11年前にプロジェクトに参加
- ・18歳で結婚。何も分からないままに、看護師に勧められてプロジェクトに参加。
- ・出産後親子ともども元気。病気がちな弟に比較し元気だ。
- ・ヨード添加塩; 5人家族で月1.5Kg

$$1500 \div 30 \text{ 日} \times 5 \text{ 人} = 10 \text{ g}$$

3) スリージャン君と10年ぶりの再会



・最初に訪問したのが2001年、当時6歳（、今23歳）だった彼は、布団に横たわり日光浴をしている姿が初対面だった。

母親の首には襟巻きしているような、腫れがあった。ヨード欠乏によるクレチン症と疑い、昆布ミネラルカプセルを供給。半年後に改善の兆しが見え2年ほど継続。自力で立つ仕草が現れ、2007年に再訪問。近くに置いてある車いすに15分掛かって座る姿をみせてくれた。得意顔が忘れられない。

その後、病気をし、2015年には震災の被害もうけて、機能退歩。現在は自力着席は無理という。再度また挑戦したいという母親の言葉に、カプセルを一袋おいてきた。改善お兆しあるなら、継続供給を約束。

中継は立ち会ってくれたビマラのお母さん経由でとした。

・今日の再会は反物店の店先であった。店舗もリニューアルされており、家業は順調のようだ。

・彼も私を記憶しているようで、笑顔を何回も作ってくれた。

以上